

## 2月 行事予定

### 全校行事

- 1 日（水）いのちと人権の日
- 3 日（金）児童会選挙
- 4 日（土）オープンスクール
- 6 日（月）代休
- 8 日（水）クラブ活動
- 11 日（土）建国記念の日
- 22 日（水）委員会活動
- 23 日（木）天皇誕生日
- 24 日（金）5歳児体験入学  
代表委員会 PTA委員総会
- 27 日（月）朝会

## 2月 各学年予定

【1年】 特になし

【2年】 特になし

【3年】

- 17 日（金）環境体験学習  
（なか・やちよの森公園）

【4年】

- 2 日（木）福祉学習  
（サウンドテーブルテニス）

- 17 日（金）福祉学習（朗読体験）

【5年】

- 3 日（金）児童会役員選挙

【6年】

- 26 日（日）ミュージックベルコンサート
- ※3月16日（木）中町中学校体験入学



# 楓っ子

多可町立中町南小学校  
令和5年2月6日（月）発行

ホームページアドレス  
電話 32-0011

### 次の学年に備えて

学校長 足立 徳昭

学校生活の1年間を締めくくる3学期ですが、2月の声を聞くと次の学年（6年生は中学1年）へ向けての準備が大切になります。次に備えるためには、今を知ることです。この1年間で、子どもたちは随分と大きくなりました。外見ではすぐに分かりますが、見えにくい心の成長はどうでしょうか。それは、子どもの様々な行動に現れています。友人関係はどう変化したでしょうか。読書傾向は、言葉づかいは、趣味やこだわりは。親への言葉づかい等、子どもの何気ない様子をそのように見ることも次への備えと言えます。「うちの子どもは幼いから」と、いつまでも「分かっている」と思っていると、思わぬ変化に突然驚かされることがあると思います。

親が、「子どもを理解しよう」という思いは、決して間違っていない。しかし、「しつけ」とは、親が「子どもを理解する」のではなく、子どもに「親を理解させる」ことが大切なのです。よく、少年期の子どもには「手を離しても、目は離すな」言われます。子どもと本気で向き合い、うるさがられても子どもの行動から目を離さないことです。このことは、「携帯で連絡し合っているから」では決して解決されないものです。

残り少ない3学期、子どもも親も一人一人が今をふり返りながら、新しい学年の準備を進めることが大切だと思います。

### 今年一番の寒波襲来

1月24日（火）から1月26日（木）にかけて、10年に1度と言われる大寒波が襲来しました。25日の朝には、約8 cm 程度の積雪があり、校庭も中庭も一面真っ白な雪に覆われました。1月20日は、二十四節気の一つである「大寒」と言われるように、湖の水も凍るほど寒い日となりました。

翌日外気温-8℃の中、子どもたちは元気に登校してきました。子どもたちは積雪の雪に大喜びし、朝から雪合戦をしたり、凍った運動場でちょっと滑ったりして遊びました。また、分厚い氷を持ってきて、見せてくれる子どももいました。「手が冷たい」と言いながらも、子どもたちは元気に友だちと一緒に雪遊びを楽しみました。



## 3月 主な行事予定

### 全校行事

- 1 日（水）いのちと人権の日
- 6 日（月）楓っ子タイム
- 8 日（水）ありがとう集会  
委員会活動
- 9 日（木）代表委員会
- 16 日（木）卒業式予行
- 21 日（火）春分の日
- 22 日（水）給食最終 卒業式準備
- 23 日（木）卒業式
- 24 日（金）修了式
- 27 日（月）春季休業日（～4月6日）

### ほんとタイム

毎月第2金曜日、学級担任以外の先生が各教室を訪問し、絵本の読み聞かせをしました。絵本をモニターに映したり、絵本を手を持ちたりして、それぞれ先生が工夫して読み聞かせを行いました。これまで何度も実施しようとする度に、新型コロナウイルス感染症の影響により中止や延期が続いていましたが、ようやく実施できました。



### 図書ボランティアさん募集（再募集）

本校では、子どもたちがより本に親しみ、読書を楽しむことができるよう、『図書ボランティアさん』を募集しています。都合のいい日時に学校に来ていただき、図書室にいていただく活動です。お父さん、お母さんだけでなく、おじいさん、おばあさんも大歓迎です。ご協力よろしくお願いいたします。

例えば

- ・いつも鍵がかかっている時間帯に図書室を開ける
- ・本の貸し借りをする
- ・本の整理をする
- ・図書室の壁に季節の飾りをする
- ・読み聞かせをするなど

## 人権作文 （第3弾）

### 「いじめはみんなをきずつける」

5年

ぼくは、いじめは絶対にしてはいけないと思います。

なぜなら、いじめをしたら、やっている方は冗談だったり遊びのつもりだったりしても、いじめられている方は、いやな思いになってしまうからです。

ぼくは、いじめをしてもだれも得をしないので、やる必要がないと思います。

ぼくがもし、本当にいやないじめをされたら、もう生きたくないと思ってしまいます。

前にテレビで、いじめをされて自さつをしてしまったという悲しいニュースをみました。ぼくは、そのニュースを見て、いじめている方はいじめをされている方の気持ちを考えてほしいと思います。ぼくは、いじめを軽い気持ちでやっても、命にかかわってしまう可能性があるのです、いじめはいけないし、怖いものだと思います。

ぼくは、以前、友達にいじめをしてしまったことがあります。ぼくは、軽い気持ちでやっていたけど、相手をいやな気持ちにしてみました。そして、ぼくと相手とそれぞれの親とで話し合いをしました。いじめをすると周りのひともまきこんでしまいます。いじめている方の心には、残らないけれど、いじめられた方の心には、ずっといやな気持ちが残ります。いじめをして、そのことが嫌で命を落とすと、もう取り返しがつかないし、家族や友達が悲しい思いをします。いじはいじめられた相手以外の人もきずつけてしまいます。

ぼくはあらためて、いじめをすると相手も家族も周りの人も悲しい思いをさせようと感じました。いじめをやっている方が得することはないし、やる意味がありません。みんなもいじめをしている人がいたら注意してあげましょう。ぼくも、注意できる強い人間になっていきたいと思います。

## 防災訓練

阪神淡路大震災から28年目を迎えた1月17日（火）、地震を想定した防災訓練を行いました。緊急地震放送の後、子どもたちは机の下に体を入れて身を守る練習をしました。避難した運動場では、大震災で犠牲となられた多くの方々に対し黙祷を行いました。校長からは、28年前に大震災が起きた直後の多可町での様子や避難訓練で大事なこと等について話がありました。子どもたちは静かに集まり、しっかり耳を傾けて話を聞いていました。訓練の後、各教室に戻り一人一人が「防災検定」を受け、防災に関する知識を確認していました。子どもたちは、震災を体験していませんが、しっかりと防災の知識は身につけていました。



## いのちの授業（6年生）

1月30日（月）助産師の先生にお世話になり、「いのちの授業」を実施しました。まず、助産師の先生から、自分の命がどのようにして誕生したのか、命の尊さ等について、映像を交えながら心に響く話をしていただきました。子どもたちは真剣な眼差しで映像を見つめ、しっかりと心で話を受け止めていました。



次に、「赤ちゃん人形を抱っこする体験」「妊婦体験」等の体験活動を行いました。妊婦ジャケットを着用した子どもたちは恥ずかしそうにしていますが、その重さから、自分がお母さんのお腹にいるときのお母さんの大変さを感じ取ることができました。その後、オンラインで子育て中のお母さん方に質問をしてお話を聞いたり、胎児の成長の様子を勉強したりしました。

### 【児童の感想】

○今日「いのちの授業」を受けました。お腹の中で、赤ちゃんがどうやって大きくなっていくのかもよく分かったし、質問で分からなかったこともよく分かりました。体験では、赤ちゃんの重さがどう変わっていくのかとか、赤ちゃんの抱っこの仕方、妊しん体験でどれくらい重くなるのかも分かりました。

## 北播小学生駅伝カーニバル

1月21日（土）加西市善防中学校周りで、北播小学生駅伝カーニバルが開催されました。本校からは、5年生男子1チームが参加しました。ここ2年間は新型コロナウイルス感染症のために参加していませんでしたが、久しぶりに参加することができました。1区から他のチームと接戦が続きましたが、今回のレースでは、「苦しいときには笑顔で走ろう」をモットーに全員がのびのびと元気よく走りました。



- 1区 走っているとき、みんな速いと思った。
- 2区 体力がきつかった。
- 3区 走っていて楽しかった。
- 4区 不安があったけど楽しかった。
- 5区 楽しかった。
- メンバー 出たかった。

## 小学1年生ちびっ子わくわくベルディー

新型コロナウイルスの影響で、本来ならば4～5歳時に実施予定だった「ちびっ子ベルディー事業」が、小学1年生で実施されました。約1時間の間、「あざーすのず」さんのマジックショーで、子どもたちは歓声を上げたり、元気な声でかけ声をかけたりしながら大いに盛り上がりました。

